



## 倉吉市議会議員（無所属）

とば きいち  
鳥羽 喜一

# —活動報告書—

### ●プロフィール●

愛児園、倉吉幼稚園、成徳小、鳥大附属中、倉吉東高（硬式野球部所属）、早稲田大工学部、東京海上、リクルート、慶應大学院 MBA

連絡先

TEL090-4149-6927

〒682-0886 倉吉市大正町1078-3

kiichi.toba@gmail.com

常任委員会として生活産業委員会、特別委員会として地域の賑わい創出委員会に所属することとなりました。どちらの委員会も、観光を含む経済対策や移住対策をテーマに扱う委員会となります。また、農業や人権といった議題も含まれます。私がまさに倉吉の課題と感じている、少子高齢化を背景とした人口減、産業の衰退という課題と対峙する委員会となります。県立美術館やグリーンズコーレ再建を追い風に、倉吉の経済を立て直せるように励みます。

## 12月定例会

一般質問・質疑の概要は、以下の通りです。

### ①県立美術館について

令和7年開館予定の県立美術館における、展示品の提案として金沢市の21世紀美術館や、チームラボのデジタルアート美術館を例に、多くの入館者を集めることの出来るよう倉吉市として鳥取県に訴えるよう提言いたしました。

### ②グリーンズコーレの再建

倉吉市と指定管理者の関係を、「より規律がある関係」とすることを提案しました。具体的には、指定管理料を成果報酬型とすることで、経営努力を促し、他の旅館業者と健全な競争を促す制度設計を提案しました。

### ③本年開催の成人式の対面での開催

本年オンラインでの開催（参加率2割）となってしまった成人式を、コロナが落ち着いた時期に再度対面で開催することを提案致しました。

今年の新成人は、コロナによって県外に出られた方は中々帰省すら出来ない状態でした。そんな新成人たちに、「旧友と会う機会を作り、倉吉という街がふるさとであると実感してほしい」という想いから提案致しました。

### ④高校生の通学費補助について

賛成の立場で、通学費補助を倉吉に先駆けて出している北栄町にある中央育英高校の地元進学者が激減した例を出しながら、どれくらい中部以外的高校へ流出が見込まれるかの試算と対策が講じられていない現状で、議会として通学費補助を進めることについては懸念があり、議会として再度、研究を進めていく必要があるということをご提案しました。

### ⑤コロナワクチン前倒しについて

昨年末3回目のコロナワクチン接種の前倒し（8か月から半年）の方針を打ち出したことに対する、倉吉市としての見解と対応を質問いたしました。

## 3月定例会

一般質問・質疑の概要は、以下の通りです。

### ①本市独自の補助金給付の提案

オミクロン株蔓延に伴い、不要不急の外出等が県内で求められている中、飲食店をはじめとした酒店、食品卸業者、ホテル等の事業者が大きな打撃を受けていることから、市独自の補助金制度の設立を提案しました。

### ②湯楽里解体の反対

グリーンズコーレの再建にあたって、隣接している宿泊施設「湯楽里」の解体が、現状において決まっています。コロナ禍においても年間6,000人の宿泊者を集めており、関金において親しまれているだけでなく、採算性が取れている非常に経営効率性が高い施設であるため、湯楽里の解体を中止し、新生グリーンズコーレと共存出来る可能性がないのかを提案しました。

### ③大雪時の除雪について

歩道や車道が狭いエリアにおいて、除雪車によって圧縮された固い雪が歩道までせり出してしまうことで、玄関先が固い雪で覆われてしまっており、除雪車で押し固められ雪は、特に高齢者にとって非常に除雪が難しくなっており、また、固い雪が歩道を覆ってしまうことから、歩行者が車道を歩かざるを得なくなっておりいつ事故が起きてもおかしくない状況であります。これらを踏まえ、東北地方では既に取り入れられている、積雪をトラックの荷台に詰め込み、河川敷等に捨てる方式を本市でも導入することを提案致しました。

### ④県立美術館の本市の取り組み

令和7年開館予定の県立美術館の本市の取り組みにおいて、倉吉未来中心北東部（図書館横）の再開発が挙げられます。この再開発の設計業者の選定方法を現状の最も安い予算で入札を行った企業を採用する方式（競争入札）ではなく、より質が高い提案を行った企業を採用する方式（プロポーザル型）で行うことで、デザイン性をもった魅力的な施設となるように提案致しました。

## 6月定例会

一般質問・質疑の概要は、以下の通りです。

### ①倉吉市のデジタル推進について

他行政と比べてもデジタル推進が進んでおらず、その原因としてデジタル人材が職員にいないことを挙げ、デジタルに長けた人材の中途採用を提案致しました。デジタル人材についての採用の意思がある旨の答弁を頂きました。

### ②赤瓦・白壁土蔵群の活性化について

赤瓦・白壁土蔵群の活性化が進んでいないのは、文化財の「維持保存」に関わる教育委員会文化財課と「観光活用」に関わる生活産業部商工観光課で部署が分断され、縦割り組織となっているからではないか。文化財である米子城の「観光活用」で賑わいを見せ始めている米子市のように、文化財の「活用」を活性化させるため、文化財課を観光や移住をつかさどる部署に移動させることを提案し、市長より前向きに検討する旨の答弁を頂きました。

### ③グリーンズコーレと関金振興について

グリーンズコーレ再建に当たって、中途半端なコンセプトでは他の観光地との勝負にならず、グリーンズコーレならではのユニークで魅力を持った「選ばれる」宿泊施設となるよう慎重に事業者の選定を行っていただくことをお願い致しました。また、グリーンズコーレ単体だけでなく、関金温泉街一帯の振興をはかるために施策を行うよう、提案致しました。

### ④税金の無駄のない有効活用について

大雨時の浸水被害対策のための排水ポンプ車を収納する格納庫（車庫）建築のために3,500万円の費用が掛かるという市からの説明を受け、「市役所の車庫付きの駐車場を活用すれば一切費用が掛からないという」提案を致しました。今あるものを工夫して活用し、市民の方からお預かりした大切な税金を無駄にしない努力を市にして頂くよう要望致しました。

## その他の活動

### (1) 移住カフェへの参加

倉吉ビール福井社長企画の移住カフェにスピーカーとして参加致しました。倉吉への移住者の方々も多く参加して頂き、「生の声」を聞くことで、課題も浮き彫りになりました。

### (2) 公共施設の視察

グリーンズコーレ、倉吉スポーツセンター、給食センター（右写真は給食センターでの試食の様子。ちょうど、メニューは懐かしのスタミナ納豆でした!）、関金総合運動公園等を視察致しました。運動施設の指定管理者である、ミズノさんの担当者の方とも意見交換を行い、指定管理制度の現状を把握することが出来ました。

### (3) 街頭演説

選挙前より行っていた街頭演説を再開いたしました。公職選挙法によって氏名を掲示することが出来ないため、タスキには「本人」とさせて頂いております。これまでは挨拶のみでしたが、議会でご提案するような「倉吉に何を訴えていくのか」を演説していきます。



### (4) グリーンズコーレについて委員会での調査

グリーンズコーレ再建に伴い、湯楽里解体が決定している中で、湯楽里の支配人の方と意見交換会をして参りました。関金温泉の泉質や、湯楽里の稼働率の高さの秘訣を聞きました。

### (5) 市長要望書の提出

広田新市長就任のタイミングでオミクロン株拡大による本市独自の事業者支援策の要望書を提出して参りました。

既にオミクロン株が急拡大した2月の時点で同趣旨の要望書を出しているのですが、その際は認められず、新市長となり再度提出致しました。補正予算で倉吉市独自の支援策策定に繋がりました。

